

富山県感染症発生動向速報

(2025年第6週分・2月3日～2月9日)

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎の報告数が増えています。

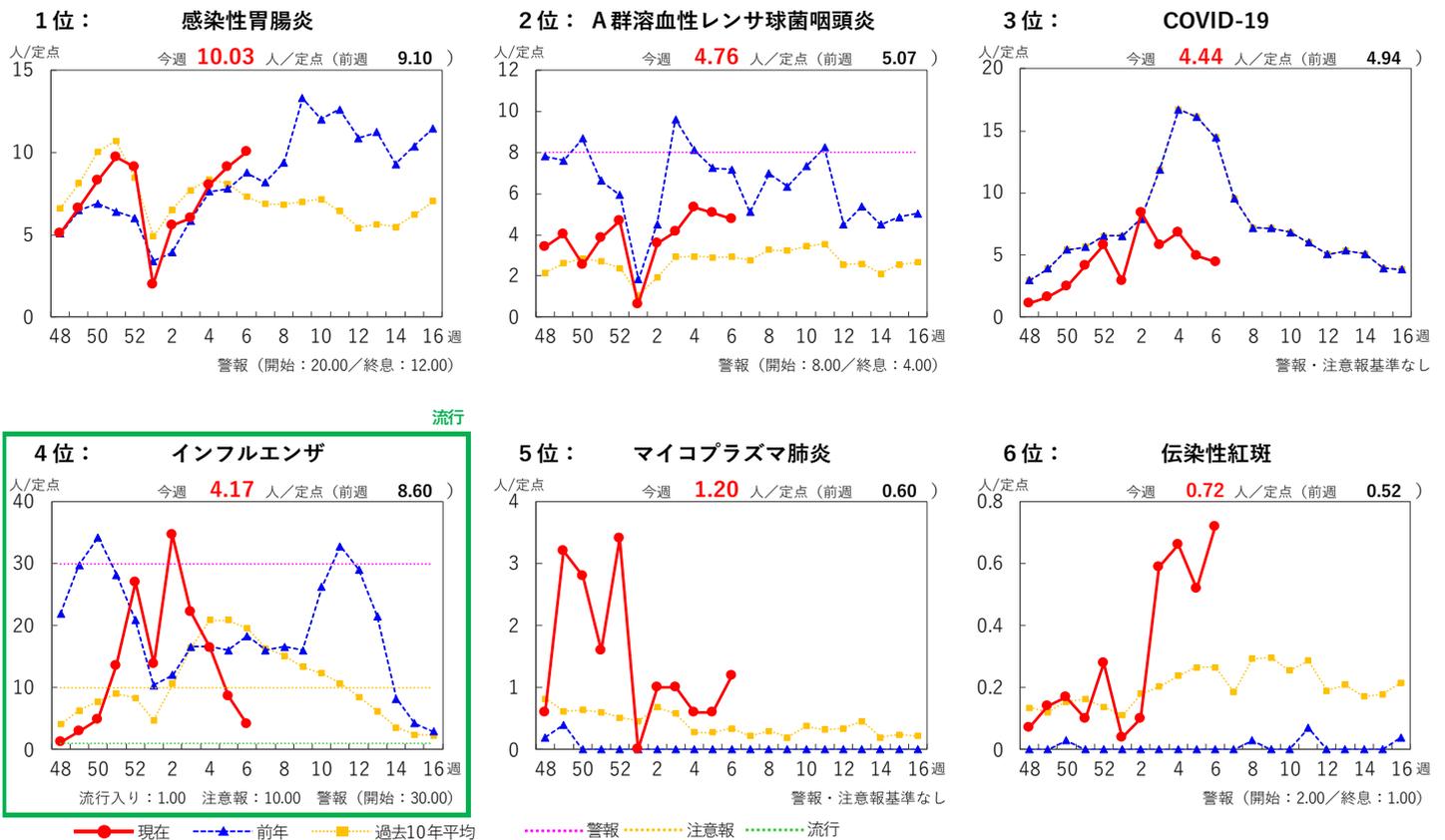
例年、冬季に患者報告数が増える傾向があります。ノロウイルスによる胃腸炎や食中毒では、汚染された糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する必要があります。(第5週インフォメーション参照)

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が多い状況です。

5歳前後の小児を中心に、例年冬から春にかけて報告数が多くなる傾向があります。感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。(2枚目インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位6疾患 (第6週・2/3～2/9)



厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3件 (①30歳代、男性 ②30歳代、女性 ③70歳代、女性)





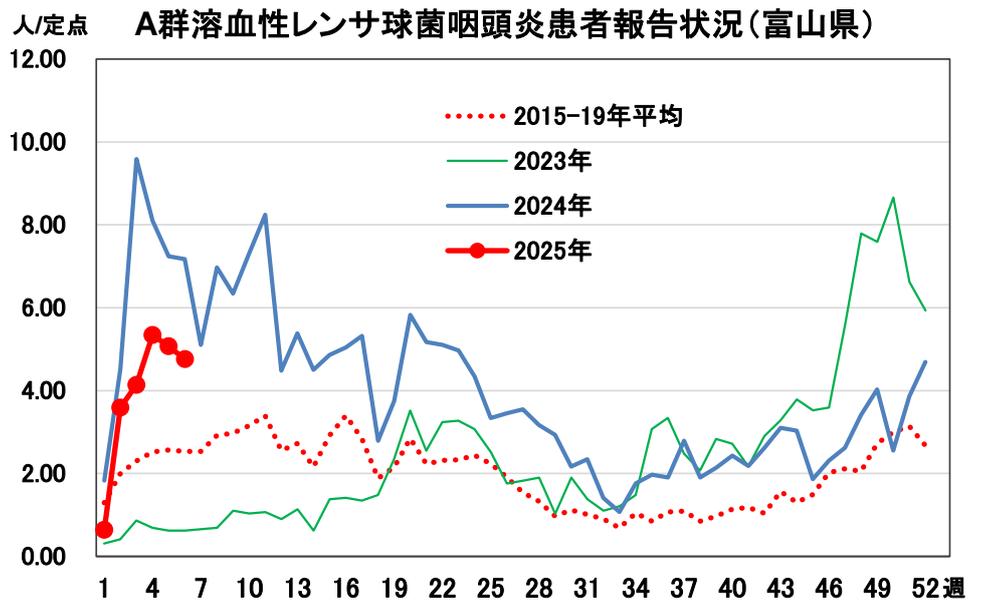
発熱・のどの痛み 溶レン菌感染症 にご注意を

《 インフォメーション 》

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶レン菌感染症）

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌（Group A Streptococcus: GAS）による上気道感染症であり、小児科定点把握疾患となっています。

今週（第6週）の富山県のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、定点医療機関あたり4.76人で、2週連続で若干減少しました。冬から春にかけて報告数が増える傾向があり、2023年から2024年の冬には例年よりも多くの患者報告がありました。引き続き今後の発生動向に注意が必要です（図）。



本感染症の潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱（38～39℃）やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、体や手足に小さく赤い発疹、舌に赤いブツブツ（莓舌）ができる猩紅熱（しょうこうねつ）を起こします。最近になって、国内で従来株に比べて発赤毒の産生量が多いM1_{UK}株が検出されています [1, 2]。本疾患はペニシリン系抗菌薬等の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。しかし、症状が消失しても医師が処方した期間まではしっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発することがあります。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。

本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。患者の年齢層は5歳前後の小児が中心で、感染予防対策（手指衛生、マスク着用）の徹底、咽頭炎症状のある児と基礎疾患のある高齢者との接触防止などの対策が必要です。

感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。

【参考文献】

[1] [Lynskey NN, et al., Lancet Infect Dis 19: 1209-1218, 2019.](#)

[2] [IASR Vol. 46 p19-20: 2025年1月号](#)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第6週 2025年2月3日～2025年2月9日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1		2	3			3	1	4	8
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1			1	1	2	4
	四類感染症	E型肝炎									2			2
		A型肝炎									1			1
		レジオネラ症									1			1
	五類感染症	アメルバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1		1	2
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
		侵襲性肺炎球菌感染症							3		1	2	4	10
梅毒								1		1		2	4	
百日咳										1	1		2	
インフルエンザ/ COVID-19定点 (48定点)	インフルエンザ	16	19	50	14	101	200	754	437	1,340	835	1,387	4,753	
	COVID-19	2.29	3.80	3.85	2.00	6.31	4.17	360	172	378	296	382	1,588	
小児科定点 (29定点)	RSウイルス感染症		2	5		4	11	6	2	20		15	43	
			0.67	0.63		0.40	0.38							
	咽頭結膜熱		5	1	13		1	20	20	7	66	1	8	102
			1.25	0.33	1.63		0.10	0.69						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	13	51	3	68	138	25	38	241	31	347	682
			0.75	4.33	6.38	0.75	6.80	4.76						
	感染性胃腸炎		18	45	44	22	162	291	116	100	149	106	707	1,178
			4.50	15.00	5.50	5.50	16.20	10.03						
	水痘			1	2			3	2	4	7	4	12	29
				0.33	0.25			0.10						
	手足口病									1	1	1	1	4
	伝染性紅斑				7		14	21		1	42	1	32	76
					0.88		1.40	0.72						
突発性発しん				1		2	3		1	12	5	18	36	
				0.13		0.20	0.10							
ヘルパンギーナ		1					1	7					7	
		0.25					0.03							
流行性耳下腺炎									3	1	1	1	6	
眼科定点 (7定点)	急性出血性結膜炎									3	1		4	
	流行性角結膜炎			1			1			10			10	
基幹定点 (5定点)	細菌性髄膜炎											1	1	
	マイコプラズマ肺炎			3	2	1	6	3		8	9	2	22	
				3.00	2.00	1.00	1.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2			2		
入院サーベイランス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）		1	1			2	55	19	40	64	43	221	
	COVID-19による入院患者	3		4	4	3	14	32	37	32	63	77	241	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

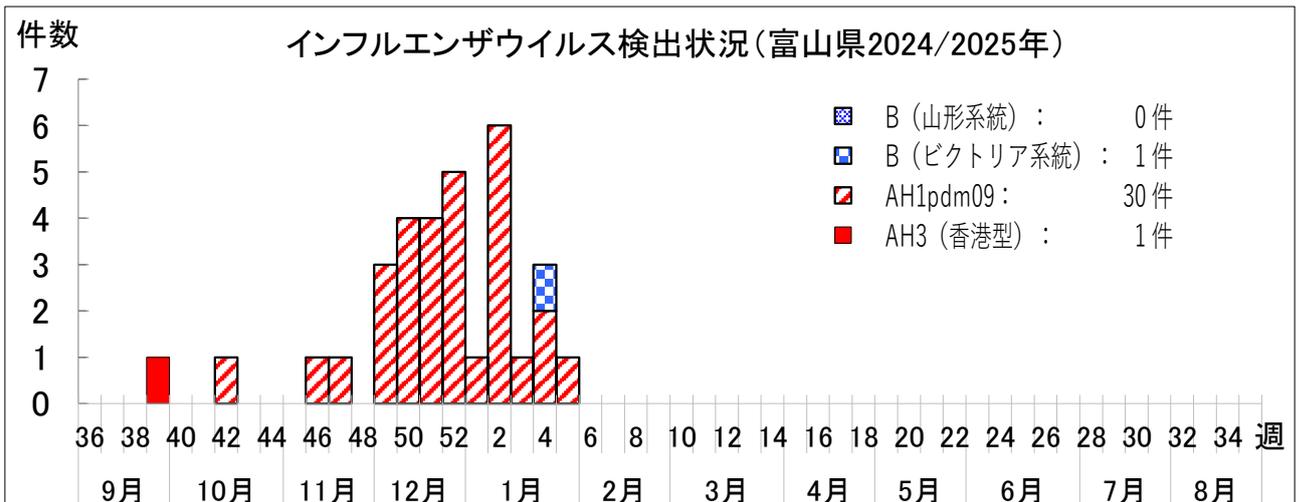
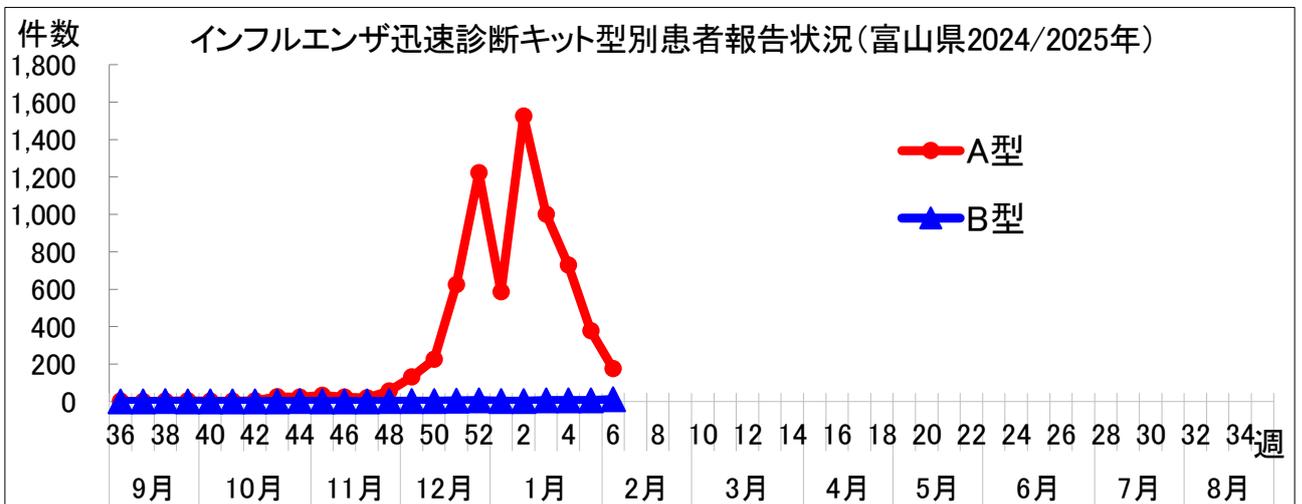
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が87.5%となっています。

第6週(2/3~2/9)：富山県 4.17人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	16	0	0	16
中部	5 / 5	15	0	4	19
高岡	10 / 13	47	1	2	50
砺波	4 / 7	14	0	0	14
富山市	11 / 16	83	10	8	101
富山県	33 / 48 ^{※1}	175	11	14	200
富山県累計(2024年36週~)		6,787	45	435	7,267

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が33か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





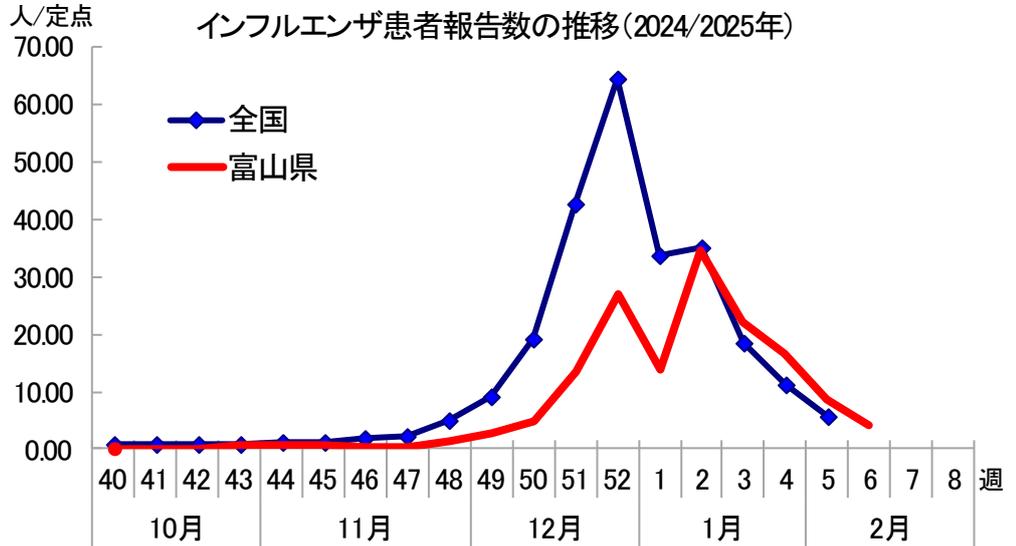
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/3~2/9) : 富山県 4.17人/定点

新川 HC (2.29)、中部 HC (3.80)、高岡 HC (3.85)、砺波 HC (2.00)、富山市 HC (6.31)

全国の患者報告数は、第5週に5.87人/定点となり、第2週から減少が続いています。

県内の患者報告数は、第6週に4.17人/定点となり、全国と同様に第2週から減少が続いています。

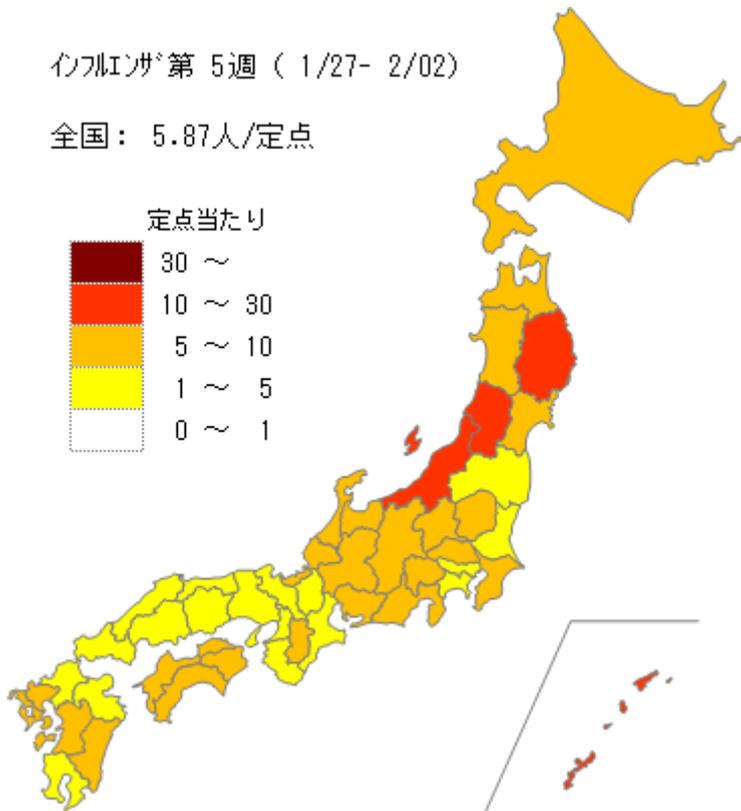


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (1/27~2/2)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり5.87人となり、前週の11.07人より減少しました。47都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルが第5週 (1/27- 2/02)

全国: 5.87人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	6.32 ↓	滋賀県	4.02 ↓
青森県	8.64 ↓	京都府	4.50 ↓
岩手県	11.35 ↓	大阪府	3.34 ↓
宮城県	9.44 ↓	兵庫県	4.56 ↓
秋田県	5.54 ↓	奈良県	7.07 ↓
山形県	16.02 ↓	和歌山県	4.92 ↓
福島県	4.63 ↓	鳥取県	4.14 ↓
茨城県	4.65 ↓	島根県	3.79 ↓
栃木県	6.83 ↓	岡山県	3.54 ↓
群馬県	8.95 ↓	広島県	3.59 ↓
埼玉県	6.13 ↓	山口県	4.42 ↓
千葉県	5.91 ↓	徳島県	5.84 ↓
東京都	3.79 ↓	香川県	6.89 ↓
神奈川県	4.83 ↓	愛媛県	5.83 ↓
新潟県	14.94 ↓	高知県	7.75 ↓
富山県	8.60 ↓	福岡県	4.62 ↓
石川県	9.27 ↓	佐賀県	7.54 ↓
福井県	7.90 ↓	長崎県	7.51 ↓
山梨県	5.39 ↓	熊本県	5.35 ↓
長野県	8.35 ↓	大分県	4.14 ↓
岐阜県	5.49 ↓	宮崎県	6.07 ↓
静岡県	6.86 ↓	鹿児島県	4.45 ↓
愛知県	6.55 ↓	沖縄県	13.32 ↓
三重県	4.45 ↓	全国	5.87 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（2025年1月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		1月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			3		6	9			3		6	9
				1.00		1.50	0.90						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			11	12		1			11	12
			1.00			2.75	1.20						
基幹定点 (5定点)	尖圭コンジローマ				1		1				1		1
					1.00		0.10						
	淋菌感染症					1	1					1	1
						0.25	0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		2	2	8	13	1		2	2	8	13
		1.00		2.00	2.00	8.00	2.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1					1	1					1
		1.00					0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。